

科目分類	専門分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	小児看護援助論Ⅱ (健康障害を持つ子ども の看護)	学 期	後 期	山本 祥子 (看護師) 杉内 友美 (看護師) 遠藤 智弘 (看護師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目 的 (ねらい)	健康障害が子どもの成長発達や家族機能に及ぼす影響について学ぶ。また子どもの特性をふまえた上で、病態・症状・看護を関連付けて学ぶ。			
目 標	1. 健康障害や入院が小児や家族に及ぼす影響について考える。 2. 発達段階や疾病の経過に適した看護について理解する。 3. 健康障害を持つ子どもおよび家族に対するアセスメントの視点を理解する。			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	病気・障害を持つ子どもと 家族の看護	発達段階における病気・障害の受け止め 病院での看護、在宅療養中・災害時の看護	講義
	2	疾病の経過と看護	慢性期・急性期・終末期の看護	講義
	3	子どものアセスメント	コミュニケーション、バイタルサイン	講義
	4	症状を示す子どもの看護	一般状態、痛み、呼吸・循環の症状 発熱、消化器症状、水分・電解質異常	講義
	5	検査・処置を受ける子ども の看護①	与薬(内服・座薬・輸液)、検尿、採血 清潔	講義
	6	検査・処置を受ける子ども の看護②	腰椎穿刺、経管栄養、酸素療法、吸入療法 救命処置	講義
	7	障害のある子どもの看護・ 子どもの虐待と看護	障害のある子どものニーズ・健康問題 虐待の種類と特徴、虐待を受けた子どもへ のケア	講義
	8	疾病・治療に応じた看護①	先天性疾患、代謝性疾患、内分泌疾患 アレルギー疾患の看護	講義
	9	疾病・治療に応じた看護②	呼吸器疾患、眼・耳鼻疾患の看護	講義
	10	疾病・治療に応じた看護③	川崎病、血液疾患の看護	講義
	11	疾病・治療に応じた看護④	消化器疾患、悪性新生物の看護	講義
	12	疾病・治療に応じた看護⑤	腎疾患、神経疾患、精神疾患の看護	講義
	13	疾病・治療に応じた看護⑥	運動器疾患の看護、事故と外傷	講義
	14	NICU の看護	新生児集中治療室の看護、早産児の看護	講義
15	先天性心疾患の看護	先天性心疾患の看護		
教 科 書	小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 小児看護学[2]小児臨床看護各論 医学書院 病気がみえる Vol.10 産科 第3版 MEDIC MEDIA			
参考文献	写真でわかる小児看護技術、発達段階から見た小児看護過程			
評価方法	定期試験 100% 杉内教員(40点)、山本教員(40点)、遠藤教員(20点) 合計100点満点での結果を最終評価とする。			
関連科目	解剖生理学・心理学・社会学・社会福祉と法規・保健医療論・小児看護学概論・小児疾患論・母性看護学・精神看護学			
自己学習に 関する指針	小児期の児と関わる機会があれば、成長・発達段階を意識して関わる。 新聞、テレビ等から、現代の子どもの置かれている環境の情報を得る。			
その他の 通知事項	随時質問に応じる。			